

滋賀県議会議員

# 村上げんよう



県政レポート 新春号 [第10号] 令和4年1月 発行

村上げんよう事務所 〒528-0005 滋賀県甲賀市水口町水口5595番地1 ボヌールビル4階 Tel:0748-70-3833 Fax:0748-70-3653

## 謹賀新年

本年が皆様にとって明るく実りある一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。滋賀県議会議員  
本年も一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

村上げんよう



## 活動報告 ～魅力ある地域づくり“心”と“身体”の『健康』を目指す～



コロナワクチン  
集団接種出動  
(水口体育館)



決算特別委員会



厚生・産業常任委員会 県内行政調査



議員研修  
東京2020パラリンピック  
「金メダルへの道のり」  
パラ競泳 木村敬一選手



令和3年11月27日 林 芳正外務大臣と

村上げんようの日々の政治活動はFacebookに掲載しておりますので、是非ご覧ください。



## 11月定例会議 一般質問 (令和3年12月10日)

### 第1問 中山間地域の農山村振興の取組成果と今後の展望について

<はじめに>

日本の原風景という一般的には、緑の山やまが、川が流れていて、家の近くには良く手入れされた田んぼや畑がある農村風景で、自然あふれる昔ながらの懐かしい故郷の景色だと思えます。これはまさに中山間地域にあります。

この大切な地域が、いつまでも持続可能な状態でいてほしいという気持ち、そしてだれも人が住まなくなって、

手入れもされず草ぼうぼうの荒涼とした田畑にならずにいてほしい、という思いで質問をします。

- ①中山間地域の農山村振興のために様々な対策を講じられてきていますが、その取り組みと成果について農政水産部長に伺います。
- ②これまでの取組成果等を踏まえ、どのような視点が農山村の振興に必要と考えているのか農政水産部長に伺います。

- ③中山間地域の振興に向け、県では今後どのような取組を進めようとしているのか農政水産部長に伺います。



11月定例会議 一般質問

### 第2問 障害者スポーツについて

<はじめに>

先の東京オリンピック・パラリンピックにおいては、多くの選手が活躍され、私達に力と勇気をいただきました。

パラ競技では滋賀ゆかりの12名の選手が出場され活躍されました。先日来庁された水泳の木村選手が金メダルを獲得され、滋賀県県民栄誉賞を受けられました。またトライアスロンの宇田選手は銀メダルを獲得され、滋賀県民スポーツ大賞「栄誉賞」を受けられました。

そのほか、水泳の井上選手と福井選手は4位、ブラインドマラソンの藤井選手は、5位入賞を果たされたなど、多くの選手が入賞されました。様々な厳しい状況において障害を乗り越えて出場されたすべてのパラリンピアンの方に、敬意を表し、心からお祝いを申し上げます。

- ①甲賀市では2年以上の準備期間を経て甲賀市パラスポーツ協会(パラスポこうか)が立ち上がり、障害者スポーツへの支援を進めようとしています。障害者スポーツの普及のため関係団体の連携について、文化スポーツ部長に伺います。
- ②選手の高齢化により、既存の障害者スポーツ団体やサークルが縮小して先細り傾向にあります。多数の選手の出場が必要となる全国障害者スポーツ大会を控え、いかにして選手を発掘していくのか、文化スポーツ部長に伺います。
- ③障害児が、学校や地域におけるスポーツ活動に参加できる機会が十分ではなく、継続的にスポーツ活動を実施できる環境が整っていない状況にあります。障害者スポーツの普及のための特別支援学校の取組について、教育長に伺います。
- ④障害者スポーツの充実や発展を目指すため、良質な指導者の存在が欠かせません。指導者育成について、文化スポーツ部長に伺います。
- ⑤現在滋賀県下では、障害者が専用または優先的に使えるスポーツ施設はわずか2か所しかありません。障害者がスポーツに参加しやすい環境(ボランティア支

援、施設)に関して、文化スポーツ部長に伺います。

- ⑥2025年(令和7年)には滋賀県で第24回全国障害者スポーツ大会が開催されます。開催に向けた準備の状況について、文化スポーツ部長に伺います。
- ⑦滋賀県では「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」を策定し、2019年から施行しています。共生社会を目指すため、障害者スポーツに対して、これからの取り組みについて、知事の所見を伺います。



甲賀市パラスポーツ協会創立総会



甲賀市パラスポーツ協会設立記念事業

詳しい内容については、滋賀県のホームページをご参照ください。



「ポッチャ」

「フライングディスク」

## 村上げんよう事務所

〒528-0005  
滋賀県甲賀市水口町水口5595番地1 ボヌールビル4階  
TEL:0748-70-3833 FAX:0748-70-3653

E-mail: genyo@ac-koka.jp  
村上げんようホームページ: <https://murakamigenyo.net/>  
村上げんようFacebook: [facebook.com/murakamigenyo/](https://facebook.com/murakamigenyo/)



ホームページ

何かご意見  
ご要望等あれば  
ご連絡ください





代表質問

11月定例会議



質問者 有村 國俊 議員

1. 新型コロナウイルス感染症への対策と今後について
2. 高等教育機関について
3. 税制のあり方について
4. 滋賀のスポーツ振興について
5. 琵琶湖の漁業振興と環境改善について
6. 県立病院について
7. 強靱な道づくり・川づくりの推進について
8. 未来を担う子供たちへの環境づくりについて
9. 警察本部長就任にあたって

新型コロナウイルス感染症への対策と今後について

Q 自公政権が進めたワクチン接種の評価とその効果

A 知事 第5波においては、高齢者のワクチン接種が一定進んでおりましたことから、本県においても陽性患者数が今までで最大の規模となったにもかかわらず、高齢者の感染者数が比較的少なく、結果として死亡された方や重症化された方を低く抑えることができたかと捉えております。また、11月末現在において、ワクチンの2回目接種完了された方は接種対象者である12歳以上人口の85%を超えるまでとなったことで、現在の感染動向が非常に落ち着いている状況につながっていると考えており、ワクチンの効果が

如実に表れているものではないかと評価しているところでございます。

Q 第6波への備え

A 知事 病床ひっ迫時には、臨時の医療施設の運用を開始することで、入院待機者などを速やかに受け入れるなど予測される第6波に備えて、一般医療を維持しつつ、療養者にこれまで以上に安心して療養していただけるよう、陽性確認前から回復・療養解除後まで切れ目なく対応できる体制の強化を進めてまいりたいと存じます。

Q 滋賀のスポーツ振興について

A 知事 スポーツは、心身の健康の保持増進に重要な役割を果たし、人々の精神的な充足や明日の活力をもたらすなど生きる力になるとともに、共生社会や活力ある地域社会の実現に寄与しており、東京オリンピック・パラリンピックを通じて、その力を再認識いたしました。

また、2025年に本県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会におきましても、子どもたちをはじめ多くの県民が、選手の活躍を間近に感じるとともに、大会運営に携わることで、スポーツの魅力を一層感じることが出来る機会になると考えております。これらの経験を通して、例えば、子どもたち

が新しくスポーツに挑戦したり、地域に新たなシンボルスポーツが誕生したり、スポーツボランティアが根付く滋賀にしたいと考えております。スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、障害者スポーツに対する理解の促進にも一層取り組んでまいりたいと存じます。

そのような滋賀のスポーツを思い描きながら、県民の皆さんが年齢や障害の有無に関わらず様々なスポーツを気軽に始め、楽しむことができる環境づくりに取り組み、スポーツを「する」「みる」「支える」という関わりの中で、県民の皆さんや地域の健康づくりを進めていきたいと存じます。

Q スポーツ・ツーリズムの推進について

A 知事 本県では、琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境などを活かして、ピワイチをはじめ、県内各地で湖上スポーツやトレイルランニング、トライアスロン、スキーなどを、多くの方々に楽しんでいただいているところでございます。これらの本県の自然環境を活かしたスポーツと、歴史文化遺産、食などの魅力を融合させることで、県外からも多くの方々に越し

いただき、地域の活性化につなげていきたいと考えています。またプロスポーツチームの発信力を活用した取組も進めたいと考えています。今後、関係団体等とも連携し、本県ならではのスポーツをたくさんの方に楽しんでいただけるよう情報発信に努め、スポーツと地域資源の相乗効果が生まれるスポーツ・ツーリズムの推進に取り組んでまいります。

G7環境大臣会合の滋賀県開催を要望

2023年に開催されるG7サミットに伴う環境大臣会合を滋賀県・大津の地で開催されるよう政府、外務省、環境省に要望しました。



二之湯国家公安委員長に「警察官増員」を要望

滋賀県は、警察官一人当たり負担人口が全国3位の621.8人で全国平均の490.3人を大きく上回っています。更にR4の植樹祭、R7の国スポ・障スポも見据え、警察官増員措置を要望しました。



小寺内閣府政務官に防災減災国土強靱化の更なる推進を要望

道路、河川、砂防など県民の安全に資する、国土強靱化の推進予算措置を重点的に要望。



東京2020パラリンピック競泳の金メダリスト

「置かれた場所で咲きなさい」 木村 敬一 選手

東京2020パラリンピック競泳の金メダリストは、栗東生まれで2歳の時病気で失明。活発ゆえに生傷が絶えず、10歳からお母さんと彦根のスイミングに通いはじめたそうです。中学校から東京の盲学校へ。ご家族や学校、東京ガスはじめ理解者の支援と、弛まざる努力で、北京、ロンドン、リオのパラリンピックを経て、ついに東京で金メダルに輝かれました。詳しくは『闇を泳ぐ』を是非お読み頂き、エネルギーを受けとってください。



滋賀県では、障害者スポーツを推進するため、きっかけづくりや情報発信、支える人材の育成などに取り組み、2025年に本県で開催します全国障害者スポーツ大会につなげてまいります。同時に開催する国民スポーツ大会とともに県民の皆さんが夢や感動を共有できる大会にしたいと考えておりますので、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

ハラスメント防止研修を開催しました

臨床心理士の高橋啓子さんをお招きし、「ハラスメントの防止について」講演をいただきました。皆が熱心に聴講し、県議会としてもハラスメント防止により一層取り組む必要があるとの思いを強くしました。

